

お客様の課題の本質に向き合い
使い勝手の良いソフトを開発！
多業種から信頼を獲得しています



代表取締役社長
三石 正宗さん
Masamune Mitsuishi

株式会社MAYB3
浜松市中央区楊子町1090-9
090-3227-4792



ユーザーに特化したシステムを構築 デジタル管理への移行を推進

20年間、ソフトウェア開発会社でプログラム設計に従事した経験をもとに、2023年8月に株式会社MAYB3を立ち上げました。現在、3名体制で、「独自業務システム」の開発を請け負っています。

お取引先は、建設業や自動車販売業、派遣業など多種多様。業務の効率化や自動化、業務の可視化や属人化のシステム化など、こんなことを解決したいという相談を受けながら、お客様のご要望に合わせて、使い勝手の良いシステムを構築していくのが腕の見せ所となります。

例えば、その人にしかできない仕事の担当者が急に休んでしまい、業務が進まず困った経験はありませんか？このような状態は「業務の属人化」と呼ばれ、対策せずにいるとさまざまな問題を引き起こします。属人化を防ぐには、自社開発ソフトで業務を標準化し、誰でも対応可能にすることでリスクを解消することが可能です。

●パッケージソフトの開発・販売



メイスト
メイブスリー在庫管理システム

在庫管理システムと販売管理システムのパッケージソフトを販売しています。インストールすればすぐに使え、低コストかつ短期間で導入できます。



メイハン
メイブスリー販売管理システム



AI-OCR: 紙で保存した書類等をテキスト化します。

RPA : データのダウンロード等、人間が繰り返し行う単純でルーティンな作業の業務プロセスを自動化します。

BI : 社内の膨大なデータをリアルタイムに自動集計するシステムです。

「営業サイドはクラウドで共有されていても、間接部門での工程管理や日付管理などはシステム化されていない会社さんも多いため、税理士さんからの紹介や口コミでお仕事を依頼されることが多いですね。ソフトウェアは、自動車や家電のような物理的な形を持たない、目に見えない製品だからこそ、ひとつひとつの仕事を着実に達成し、信頼を築いていきたいと思っています」と語るのは、代表取締役の三石正宗氏。

ネット社会になってから久しいですが、紙文化からデジタル管理への移行は、現代においても多くの企業が直面している課題でもあるため、MAYB3の活躍の場は、今後益々広がっていくことでしょう。

社名のMAYB3は、「三石になら、この問題を何とかしてくれるかもしれない」と、お客様から期待される会社になりたいとの願いから名付けたとのこと。

質の高いコミュニケーションを元に、プロセスや品質を可視化し、顧客満足度を追求したサービスを提供することで、お客様からの信頼を獲得しています。



パソコンの販売・セッティングは、静岡県・愛知県エリアを中心に行っています。初期設定(OS、ネットワーク、アカウント設定)からデータ移行、セキュリティ対策まで対応し、購入後すぐに利用できる状態にします。御社に最適なスペックのパソコン選定もアドバイスさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

最大重量80kgを吊り上げる大型ドローン！
数日から数ヶ月かかっていた搬送路の確保も
素早く安全に、楽に運搬作業が可能に！



代表取締役

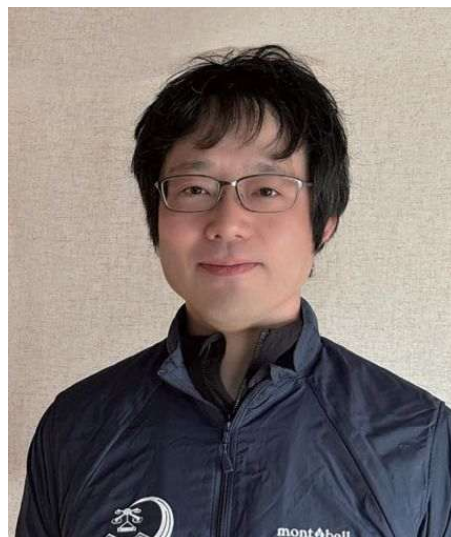
榎原 康久さん

Yasuhisa Sakakibara

株式会社やまびこドローン

浜松市天竜区横川12645

053-924-0014

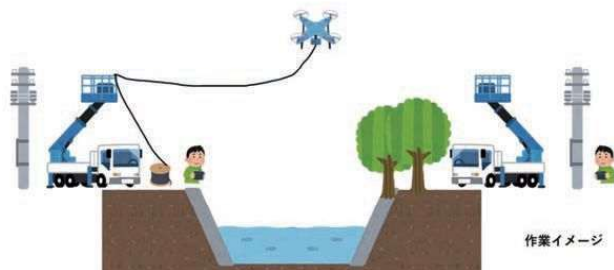


林業で培ってきた経験を活かした ドローンによる物資運搬サービス

株式会社やまびこドローンの前身は、榎原商店。天竜川流域の豊かな森林資源を活かした林業および製材業を営んできました。2016年に林業現場をドローン撮影し、ロープの運搬を試してみたのをきっかけに、ドローンの可能性に魅せられ、大型ドローンを用いた資材運搬サービス事業に本格的に参入。現在では、静岡県はもとより遠くは長崎県等、日本全国から声がかかり、さまざまな現場で活躍されています。

「山間部におけるドローンの運搬能力は急速に進化しており、特に重い資材を吊り下げて長距離・高低差のある場所へ運ぶ技術が飛躍的に向上しています。やまびこドローンでは、最大80kgの運搬が可能なFLYCARD 100を導入し、作業がよりパワーアップしました」と語るの代表取締役の榎原康久氏。センサーオフでの高度な操縦技術や、航空法・気象など専門知識が求められる、難易度が非常に高い国家資格、「無人航空機操縦者技能一等」を取得されています。

セメント袋や仮設足場などの重量物を人力で、ましてや足場の悪い急斜面で運ぶのは過酷です。また、人手不足や高齢化への対処にも直結します。今まで、モノレールを敷いたり、ヘリをチャーターするしかなかった現場に、ドローン運搬という新しい選択肢が加わることで、準備に数週間～数か月かかっていた搬送路の確保が、ドローンなら素早く作業が可能です。



▲ドローンなら、橋がかかっていない川の向こうへ電線を渡す作業も簡単です！

長崎スタジアムシティのジップラインを施工サポートの為、約260mのリード線を4本、合計1040mの展張を実施。ドローンオペレーター、リード線出し手、リード線受け手の3名チームを編成し、架線工事のリード線をドローンにて運搬を行いました。



人・車両での運搬が困難な場所へ、お荷物を運ぶドローン！
平均40kg、2日間10時間で148フライトを行い、4.8トンの運搬を完了しました。険しい山道を人力で、ひとり30kg運んだ場合、1日10往復で16日を要する過酷な労働となります。FLYCARD100の導入によりさらに進化しました。



ホームページでは、実際の作業の様子を動画で閲覧できます。
是非ご覧ください。

長崎スタジアムシティ

